

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年8月24日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	三重県南勢志摩地域活性化局	代表者名	梅村 和弘
担当者部署	地域活性化防災室	連絡先電話番号	0596-27-5115
担当者役職	主事	担当者氏名	押越 祐樹
住所	516-8566 三重県伊勢市勢田町628番地2		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">・森町で実際に活用されている事例やツールなどもご紹介いただきながら、鳥羽市での活用に向けて気になっていた点に関する質問に丁寧に回答していただき、実行可能性のありそうな方法などについても親切に教えていただけたこと。・個人的な考え方などに基いたアドバイスもいただくことができて参考になった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年8月19日	10時00分	11時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="checkbox"/> 掲載可
------	------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	志摩市職員、県庁職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	市職員等でプログラミングやサイト構築を行える職員が居ない中、山形氏が実践していたオープンデータを活用したアーカイブ等の事例が鳥羽市で同様に実施できるか。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員で業務が遂行可能なのか、委託してでも実施が必要なのか判断をする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	実際に活用したデータ、サイトの紹介及び、活用しやすい類似サイトの紹介	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	具体的な情報を提示いただいたため、担当職員次第ではすぐにも実施を進めることができると判断できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今回相談した事項については必要な情報や進め方をご教授いただいたのでありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 志摩市職員に対し上記の内容のアンケートを行い、回答を記載しました。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

写真やスクリーンショットを撮影しておりません。申し訳ございません。